

採用力の強化に

健康経営

健康経営とは

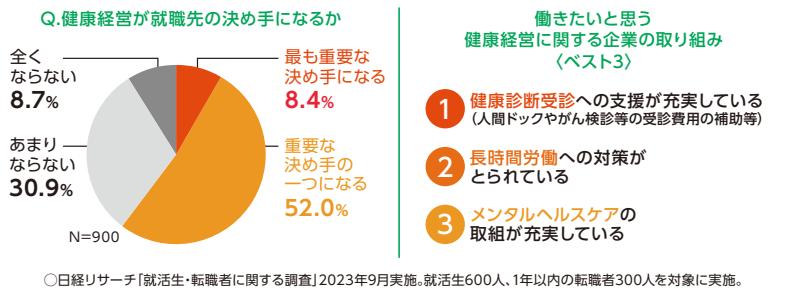
「健康経営®」とは、従業員などの健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践することです。

経営理念に基づき、従業員の健康保持・増進に取り組むことで、組織の活性化や生産性の向上、企業価値の向上などの効果が期待されます。

選ばれる企業に

従業員が大切にされ、良いコンディションを保ちながら働く職場が求められています。健康経営が就活の決め手になると回答する割合は高く、健康経営優良法人の認定法人は全国平均より離職率が低い傾向がデータから読み取れます。

就活の決め手に！



働きたいと思う健康経営に関する企業の取り組み（ベスト3）

- 1 健康診断受診への支援が充実している（人間ドックやがん検診等の受診費用の補助等）
- 2 長時間労働への対策がとられている
- 3 メンタルヘルスケアの取組が充実している

離職率の低下に！



〈健康経営 実践企業の声〉

社員のリテラシーが向上し、職場風土やコミュニケーションも改善した

企業のブランド価値が向上し、事業への好影響があった

社員の生産性が上がり、業績向上につながっている

社員の満足度が高まり離職率が下がった

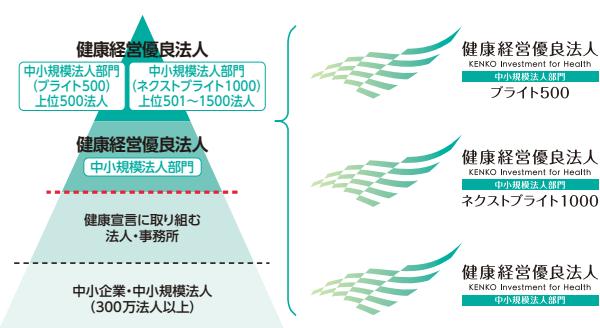
健康経営優良法人認定制度

健康経営度調査票（大規模法人部門）への企業回答および、中小規模法人部門での健康経営優良法人認定申請をもとに審査を行い、下記のように認定しています。

大企業等



中小企業等



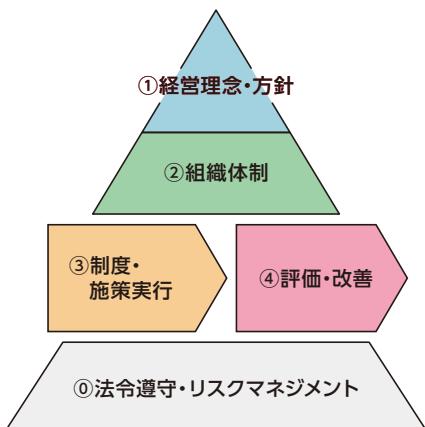
未来のために

健康経営

健康経営の考え方

「健康経営」においては、経営基盤から現場で実施される施策まで、その取り組みがしっかりと連動・連携しているかが問われます。「法令遵守・リスクマネジメント」を前提に、「経営理念・方針」「組織体制」「制度・施策実行」「評価・改善」というプロセスの積み上げが、従業員の心身の健康を保ち、より強い組織を作り上げるために必要となります。

健康経営優良法人の選定基準



※図「⑤法令遵守・リスクマネジメント」は定量値(得点)評価ではなく適否の判断。

健康経営度調査の評価項目

- | | |
|-----------------|---|
| ①経営理念 | ● 経営トップの約束であり宣言。
統合報告書への記載等を通じた社内外への発信。 |
| ②組織体制 | ● 社長や役員が健康づくりの旗振り役となり、
専門職、健康保険組合と連携した組織づくり。 |
| ③制度・施策実行 | ● 計画の策定
従業員の健康課題解決のための取組を設定。
実現の目安となる目標値や年限を決める。 |
| ④評価・改善 | ● 土台作り
研修によるリテラシーの向上や、ワークライフバランス、
病気と仕事の両立に必要なルールの整備。 |
| ⑤法令遵守・リスクマネジメント | ● 施策の実施
食生活や運動機会の改善、感染症予防、メンタル不調への対応、
受動喫煙や女性の健康対策など。 |
| ⑥評価・改善 | ● 実施した取組の効果はどうだったのか、
検証結果を踏まえてさらなる施策の改善へ。 |
| ⑦法令遵守・リスクマネジメント | ● 定期検診やストレスチェックの実施、
労働基準法、労働安全衛生法を守ることが大前提。 |

「人」のパフォーマンス向上で、未来を築く

人的資本の価値を高める健康経営

自ら価値を高められる資本である「人」のパフォーマンスを引き上げる健康経営の浸透は、様々な側面で価値向上をもたらします。

（人的資本経営の土台）
健康経営

個人(従業員等)

- ヘルスリテラシー向上
- 生活習慣の改善
- 性差を踏まえた健康課題への対処
- 業務パフォーマンス、
エンゲージメントの向上

組織

- 組織の活性化
- コミュニケーションの増加
- 生産性や企業価値の向上
- 無形資産(人的資本)の増加
- ブランド価値向上
- 人材を引きつける組織の
魅力向上、採用力向上
- 持続性担保
- ステークホルダーからの信頼確保
- レジリエンス向上

地域・社会

- 健康に対する価値観の向上
- リタイア後も持続する行動変容
- 家族のヘルスリテラシー向上
- 地域のインフラや活力の維持
- 幅広い国民のQOL向上、
Wellbeing実現への貢献
- 健康寿命延伸

経済

- 公的保険外サービスの充実や質の向上
- ヘルスケア産業の創出・拡大・国際進出
- 労働力人口の増加
- 日本経済の成長への貢献

日本経済社会を支える基盤へ

○「健康経営の波及効果と目指すべき姿(2.0) (経済産業省「第1回健康経営推進検討会」事務局説明資料)」に掲載の図を一部加工



お問い合わせ

健康経営優良法人認定事務局(日本経済新聞社) 窓口／株式会社日経リサーチ

〒101-0047 東京都千代田区内神田2-2-1 鎌倉河岸ビル

TEL 03-5296-5172 (平日10時～17時30分)

大規模法人部門について health_survey@nikkei-r.co.jp 中小規模法人部門について kenkoujimu@nikkei-r.co.jp

ACTION! 健康経営